

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム さくらの家
日付	平成19年3月31日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>このグループホームは、隣に病院があり、裏に幼稚園、見える範囲に役所・高校など、素晴らしい環境地域にあります。病院との関係がとても良く、安心して診察に行っています。夜間の対応も問題なく、民間のグループホームとしては良好なポジションにあります。近所の幼稚園には良く遊びに行っています。また、登下校の子供たちに朝夕の挨拶するのを入居者は楽しみにしています。地域の文化祭では入居者の作品を出品したり、グループホームの祭りには町内の人々が来てくれたりするなど地域との関係も良いようです。</p> <p>庭には芝生が植えられ、庭に面して広いウッドデッキがあり、入居者の憩いの場所になっています。近所の子供たちが庭に遊びに来る姿が良く見られます。畑では玉ネギ、大根、白菜など、本格的に野菜が作られていました。毎日の食事の食材として利用され、入居者は収穫を楽しみにしています。そして入居者が仕事として水遣りや草取りをすることで、リハビリ化しています。</p> <p>職員の対応は、大変良く出来ていました。職員間の連携も問題なく、言葉かけも上手で、入居者からは笑顔も出ていました。手作業として壁に飾る作品を作っていましたが、無理強いすることなく上手に誘っていました。</p>
<p>改善の余地があると思われる点(記述式) 特になし。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 入居者の「人格を尊重」「家庭的で安心してゆったりとした生活」「個々の役割の発見、いきがい」を掲げています。また、身体的、薬物による拘束だけではなく、言葉による拘束もないグループホームを目指しています。日頃から代表者ならびに管理者から話をしています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 職員は、入居者の行動パターンを把握しています。落ち着かない入居者には、職員が手を取ってグループホーム内を歩いています。庭からは子どもたちの登下校姿が見えます。毎日挨拶をするのを楽しみにしています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 男女が生活していますので、入浴やトイレが一緒にならないように配慮しています。 入居者の中には英語や中国語を話す方や、料理を手伝ってくれる方もいます。また戦争体験のある方など、職員は入居者個々の経験を尊重して、プライバシー保護のために取り組んでいます。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	・月1回、グループホーム内で管理者からケア方法などの話をして、職員のレベルアップを図っています。また、「待って」「出来ない」という言葉を使わないように日頃から気をつけています。 ・代表者は職員が資格を取ることを推奨しバックアップに徹しています。		